

城南家保ニュース Vol.28-3

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

メールアドレス jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojounan>



平成28年度球磨・芦北地域家畜衛生推進会議を開催

平成28年6月2日に、管内の市町村畜産担当者、地域振興局畜産担当者、畜産関係団体、獣医師会を参集し、球磨・芦北地域家畜衛生推進会議を開催しました。昨年度の事業実績及び本年度の事業計画について確認と協力をお願いし、その他、家保の具体的な取組として、農場 HACCP、肉用牛繁殖巡回指導、病性鑑定実施状況、伝染病発生情報と対策、飼養衛生管理基準の遵守状況、牛ウイルス性下痢・粘膜症（BVD-MD）対策ガイドライン等について説明を行いました。



本年度は、4月の熊本地震の影響により、4月及び5月の事業において変更が生じました。6月以降は、復興事業と並行しながらも、積極的に事業推進を図っていく予定です。家畜伝染病防疫対策の推進及び畜産農家における生産性向上のため、事業実施への御協力をよろしく申し上げます。

梅雨時期の餌の管理にご注意ください

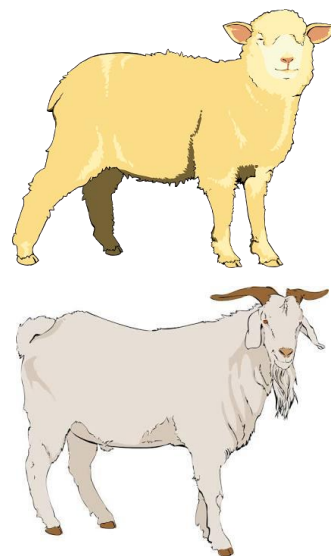
6月4日に気象庁が九州地方の梅雨入りを発表しました。梅雨があけるまでの約1ヶ月間、雨天の日が多くなり、気温、湿度が上昇するこの時期は、細菌・カビ類が増殖するのに適した季節です。飼料の変敗等がないよう、適切な管理をお願いします。

- 紙袋飼料は、直射日光をさけ、風通しのよい所へ保管してください。また、地面に直接置かずスノコなどの上に置いてください。また、カラス、ネズミにより紙袋の破れが生じないように注意しましょう。
- タンク内の飼料は、およそ2週間以内で使いきる量を補充し、長期間タンク内に飼料を保存することは避けてください。



非定型スクレイピーの発生と死亡めん山羊の適正処理について

平成28年4月28日、福岡県において非定型スクレイピーの発生が報告されています。スクレイピーとは、異常プリオンたん白質を原因とするめん山羊の伝達性海綿状脳症であり、家畜伝染病に指定されています。非定型スクレイピーは、通常のスクレイピーとは異なり、伝染性はなく、他のめん山羊には感染しないと考えられています。伝達性海綿状脳症に対しては国内での撲滅のため、全国的にサーベイランスを行っており、対象は12ヶ月齢以上のめん山羊（と畜場においてと殺されたものは除く）となっています。対象となるめん山羊が死亡した場合、本病の検査が必要となりますので、家畜保健衛生所まで連絡をお願いします。



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	5月4日	牛	O型
高病原性 鳥インフルエンザ	台湾	4月19日~4月20日	がちょう・地鶏	H5N8
		4月29日	鶏	H5N2
	ベトナム	4月23日	家きん	H5N1

6月1日現在

編集後記

熊本地震から約2ヶ月が経ちます。私事ではありますが、東日本大震災のとき岩手県にいました。そのときも、今回の地震でも感じたことですが、災害発生時の助け合いの精神には感動を覚えます。これから、復興への道のりは険しいものだと思います。被災地支援は長い目で見ていく必要があります。畜産に携わる自身としては、熊本産の農畜産物を消費することも支援に繋がると思っています。地産はできませんが、地消は積極的に続けて行こうと考えている次第です。（防疫課 F. T）